

令和7年度 楠栖保育所 事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 70 名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各初日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	30
1～2歳児	15	15	15	16	16	17	17	17	17	18	18	18	199
3歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
4歳児以上	25	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	309
計	53	53	54	56	56	57	58	58	58	59	60	60	682

(3) 職員数 令和7年度初 21 名 令和7年度末 21 名

(4) 職員の異動等

①採用

年 月 日	職 名	氏 名	年 齢	資 格	備 考
R8.1.1	保育士			保育士	常勤的非常勤

②異動

年 月 日	職 名	氏 名	年 齢	資 格	備 考
R8.3.31	保育士			保育士	配置換減→佐々神田保育園

③退職

年 月 日	職 名	氏 名	年 齢	資 格	備 考
R.8.3.31	保育士			保育士	一身上の都合により
R.8.3.31	調理員			調理員	一身上の都合により

(5) 職員会議の開催状況

- ・各クラスの様子や保育内容の確認、気づき、行事等の打ち合わせ、反省を行い、今後の課題を話し合った。また、保護者対応及び要支援児は、毎日短時間のミーティングを行い迅速な対応を心掛けた。特に7年度は障害児の対応を全職員で行った。
- ・給食内容検討会を月1回開催し、月の献立内容、各クラスの嗜好や喫食状況を報告し合い、咀嚼が苦手な子、嚥下が上手に出来ない子の対応を検討した。食事のマナーに関しては箸の持ち方、姿勢など年齢別に指導の仕方を話し合った。会議の内容を踏まえて献立の見直し、食育につなげた。
- ・全ての会議は議事録を取り、全職員に周知した。

2 保育の実施状況

豊かな自然に囲まれ恵まれた環境を活かして、思いっきり体を動かし、丈夫な体作り、元気いっぱいな子どもたちを目標に保育を行った。またそればかりではなく、漢字遊び、ECC などを取り入れ、動と静のメリハリのある保育を心掛けた。

小佐々町の3つの小中学校で海光る町学園を形成していることもあり、学校交流や行事、挨拶運動に積極的に参加し、地域住人、各学校との連携を深めた。特に前年度は「こさざっこのおすすめの110さつ」運動に当園お勧めの本を厳選して参加した。

お遊戯会などの保護者参観は家族や親せきの方にも参加して頂き、子どもの成長を皆で一緒に喜べる環境を作った。また、一日保育参観を行い、子どもたちのありのままの様子を見て頂き、全園児の保護者と職員が共に保育を行う環境作りに努め、より親近感が持てるようになった。

地域の文化祭や施設訪問にも積極的に参加し、毎年恒例となって地域の方々に喜んでいただいている。

食育においては、竹林の筍の皮むき、園庭での野菜作りを行った。畑作り、肥料を土に混ぜることから行い、水やりをしながら野菜の生長観察をし、収穫した野菜は給食室で調理をお願いし給食に出してもらった。野菜が苦手な子ども自分たちが作った野菜は嫌がらずに食べることができた。また、年長児には調理の体験として、おにぎりや野菜のカット、後半はおやつ作りなどの体験を行った。子どもたちがたくさん体験をし、「いただく」ことの大切さや見聞を広められるように取り組んだ。

3 外部講師の指導状況

指導内容	講 師 名	指導回数（月・週指導回数）	委託先名
幼児体育指導		毎週月曜日午前 10 時より 年間 20 回	いむら体育教室
漢字保育指導		年 7 回 午前 9 時 30 分より 年間	登龍館
英語あそび指導		毎週火曜日午前 10 時より 年間 35 回	E C C

4 年間行事の実施状況

実施年月日	行 事	実施年月日	行 事
R7.4.1	入所式・進級式	4.11	漢字研修
4.17	誕生会	4.25	防災訓練
4.26	親子遠足		
5.14	交通安全教室 検尿容器回収	5.15	誕生会
5.16	バスハイク	5.20	楠栖小学校総練習見学
5.21	内科健診	5.26	バスハイク
5.29	防災訓練		
6.6	芋差し遠足	6.11	バスハイク
6.12	歯科健診	6.18	誕生会
6.26	防犯訓練 警察さん訪問	6.27	1 年生交流、花の種を植えよう
6.30	防災訓練		
7.4	七夕祖父母参観	7.7	相浦総合プール（百合、桜）
7.9	交通安全教室	7.16	読み聞かせ（サクランボクラブ）
7.17	誕生会	7/1～7/17	1 日保育参観
7/22～7/25	1 日保育参観	7.22	心肺蘇生 AED 研修
7.23	人権の話 ジンケン君来所	7.31	防災訓練
8.1	夏祭りごっこ	8.21	誕生会
8.20	防災訓練	8.28	漢字研修
9/1～9/11	1 日保育参観	9.11	誕生会
9.12	漢字研修	9/17～9/19	中学校職場体験
9.25	防災訓練		
10.2	運動会 総練習	10.7	運動会写真撮影 リハーサル
10.11	運動会	10.15	芋ほり遠足
10.17	小佐々中学校 3 年生交流	10.20	内科健診
10.22	誕生会	10.23	尿検査回収 防災訓練
10.23	漢字研修	10.27	長串山ヘリコプター見学

10.30	小学校いっちゃんコンサート見学	10.31	施設訪問（黎明館）
11.5	施設慰問（徳ちゃんホーム）	11.7	文化祭りハーサル（堇、百合、桜）
11.9	小佐々町文化祭	11.11	防犯訓練
11.13	防災訓練	11.13	誕生会
11.22	防災訓練	11.28	漢字園内研修
11.29	バスハイク(堇、百合、桜)		
12.4	お遊戯会総練習	12.8	バスハイク（コミセン）
12.9	お遊戯会写真撮影	12.10	バスハイク（コミセン）
12.13	お遊戯会	12.17	小学校交流会（5年生）
12.18	施設訪問（社会福祉協議会） カレンダー配り	12.22	焼き芋体験（バスハイク）
12.24	クリスマス会	12.26	餅つき会
12.26	防災訓練		
R8.1.14	総合防災訓練	1.16	小学校交流 5年生
1.20	卒園写真撮影	1.22	漢字研修
1.23	誕生会	1.28	修学前交通安全教室（伝習館）
2.2	節分会、恵方巻作り	2.4	楠栖保育所カルタ大会
2.5	バスハイク（冷水岳）	2.6	小学校探検
2.9	おやつクッキング	2.12	防災訓練
2.13	漢字研修	2.18	風揚げ大会
2.20	バスハイク(消防署見学)	2.25	マラソン大会
2.26	カレークッキング（桜）	2.27	バスハイク（福井洞穴）
3.3	雛祭り誕生会（3月）	3.4	江迎交通警察 交通安全教室
3.5	バスハイク（千本山）	3.9	マラソン大会
3.14	卒園式	3.19	お別れ遠足 桜・百合・堇
3.18	おやつクッキング	3.24	縄跳び大会
3.27	防災、防犯訓練	3.31	お別れ会、離任式

5 職務分担表（令和7年度最終版）

職名及び氏名	職 務 内 容	
所長 田島順子 苦情解決責任者 虐待防止責任者	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理(人事・労務・施設・防火) 3 保育業務の管理(保育課程の作成) 4 財務管理	5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関、保護者会等との連携及び地域活動 7 苦情解決責任者 8 保育所事務一般に関すること 9 虐待防止責任者
主任保育士 苦情受付責任者	1 園長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育課程の作成及び保育内容の指導 助言 4 園内研修の企画及び指導 5 園行事に関する計画及び指導	6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する助言指導 8 職員会議の計画と実施 9 小学校との連携 10 苦情受付責任者 11 災害時の地域支援
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録 4 園児の健康と安全管理	5 調理員との連携 6 保護者との連絡及び指導 7 園だよりの作成
保育士	*桜組の担任	

保育士	*百合組の担任	
保育士	*堇組の担任	
保育士	*薔薇組の担任	
保育士	*桃組の担任	
保育士 看護師	*蒲公英組の担任	
保育士	1 園舎内外の掃除点検	
保育士	1 共通遊具の整理、保存	
保育士	1 保育材料に関すること 2 備品物品に関すること	3 図書の管理
保育士	1 交通安全に関すること	
保育士	1 避難訓練に関すること	
看護師	1 保健衛生に関すること 2 医薬品の整備・保管	3 検便に関すること 4 健康診断及び歯科検診、尿検査に関すること
保育士 (衛生推進者)	1 衛生推進に関すること	
保育士	1 障害児担当	
保育士 (食育担当者)	1 食育に関すること	
保育士	1 延長保育事業に関すること	
調理員	1 献立の作成及び給食材料の発注・検収 2 給食人員の把握 3 調理・配膳	4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関すること
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医	1 園児の歯の検診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

6 施設等の整備状況

(1) 施設の改築・修繕（100万以上）

年 月	工 事 名	金 額（円）
なし		

(2) 固定資産物品（10万以上）の購入

年 月	物 品 名	金 額（円）
R7/7/7	スチームコンベクションオープン MIC-5TC-G	979,000

7 保育所の自己評価

(1) 職員の自己評価

全職員が自己評価を年2回に行い、1年の振り返り、反省を行った。各自の課題を明確にすることで保育の振り返り、保育の質の向上に努めた。

(2) 保育所における自己点検、自己評価

3つのグループで園評価を行い、それを皆で合わせもって最終的に施設長の責務のもと保育所全体への点検・評価につなげた。その内容は全職員で共有し令和8年度の全体的な計画に反映した。

8 職員の研修参加状況

年 月 日	研 修 会 名	参 加 者 名
5/21	長崎県保育協会 食育研修	
6/21	うんとこどっこい	
7/31, 8/1	登竜館 夏季指導者研修	

8/20	佐世保市 主体的に学びに向かう力を育む	
8/19	調理従事者等研修会 調理員	
8/29	保育研修会 「障害児保育について」	
9/4	長崎県保育部会	
9/4	保幼小ブロック連携要録研修	
9/17	主任主幹研修会	
10/9	支援が必要な子ども	
10/21	保健研修会 WEB	
11/10	施設長研修	
12/4	保育部会 食育研修	

キャリアアップ研修

R7/9/9,10,11、10/18	佐世保市保育会 キャリアアップ食育	
R7/9/16・17・19 10/18	佐世保市保育会 キャリアアップ食育	
R8/1/13・14・15	マネジメント eラーニング	
R8/1/19・20	障害児保育 eラーニング	
R8/2/9・10	マネジメント eラーニング	
R8/2/9・10・12	障害児 eラーニング	
R8/2/19、20・21	保護者支援・子育て支援	

針尾福祉会主催の研修実施状況 園内保育

R7/6/1	日宇保育所	石井方式漢字遊び全職員
--------	-------	-------------

漢字保育所内研修 年 7回 4/11 5/29 8/28 9/12 10/23 1/22 2/13

福祉会内公開保育研修

針尾保育園・・・(4/30) (5/2) 佐々神田保育園・・・(5/7)
 ルンビニ保育園・・・(5/13) (5/14) 日宇保育所・・・(5/20) (5/23)

9 苦情処理受付状況

意見・要望・苦情・不満 受付件数 3件

- ・登降園時、駐車場にて児童が走り出し危ないことがある。必ず手を引くようお願いしてほしい。
→園だより、掲示版にて周知した。当該児童には職員が声掛けを行った。
- ・給食に対して本人がストレスを感じているようだ。
→給食を無理強いさせているということではなく、本人に「食べられるだけでいい」と声掛けをしているが、他のお友だちに負けたくないとの意識で、意地を張っている様子が見られた。保育士がその都度声を掛けるようにした。保護者にもその旨を伝え納得して頂いた。
- ・女の子でトイレを我慢しているのか、失敗が見られる。言いやすいようにしてほしい。
→伝えにくい雰囲気や環境がなかったか見直した。「行きたいときには行っていいんだよ」と伝えた。自分の気持ちを伝えることができているか、保育士がトイレを促すようにしばらく様子を見ることを伝え、保護者に納得して頂いた。

保育園（所）における自己点検・自己評価

（園名 楠栖保育所 ）

・ A、B、C、D の4段階評価

A：大変良い
B：良い
C：一部検討を要する
D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	（１）保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた全体的な計画を設定しているか。		○			前年度の保育目標に対しての反省点を検討し、保育所の実態に照らし合わせて話し合いを行い、全体的な計画を作成した。広い園庭を活用し子どもたちが元気に遊べる環境を生かした保育に努め、さらに体力向上に努めた。 保育目標は全職員で検討し、共通理解を深めていくように努めた。
	（２）目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	（３）目標は、情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	（４）目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	（５）目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	（１）指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				各クラス、月齢や実態に即した指導計画を作成した。 地域ならではの子どもの個性を尊重しながら今年度の子どもの特性を考慮し、安心して通えるよう、また安心して預けられる場と保護者が相談しやすい環境づくりを心がけた。
	（２）保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	（３）環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	（４）評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	（１）１日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			子どもと規則正しい生活リズムを作りと、心地よい場であるように努めた。人数に変化が出てきたのでゆとりを持たせたものに変更しながら行った。
行事について	（１）行事の種類や実施回数は適切か。		○			年間計画を立てて進めた。 外の活動を増やし、体力増進、健康な体づくりを考慮した行事を計画した。 季節が今までとは違うようになってきているのでその気候に応じて変更を行い子どもたちに負担にならないように配慮した。 子どもの自主性を伸ばす保育はまだ課題が残るが、今年度は子ども目線に立った保育に努めたい。
	（２）行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	（３）乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	（４）計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		職務分担表で職員の職務内容を明確に、シフト表を早く掲示し職員の配置、役割がわかりやすい体制づくりにした。どのクラスも理解し、助け合える体制を作た。 職員配置は本人の希望も配慮しながら行い、適材適所を考慮し、分担、割り当てをした。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か		○		
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			職員会議を定期的に必要に応じて開催し、会議内容を明確にすることにより問題提起、情報共有を全職員で行った。全職員が関わることで、問題の改善、全員周知につながった。また、毎日ミーティングを行い保護者の意見要望に迅速に対応するようにした。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	年齢別・クラス	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定しているか。		○		クラス目標は子どもの遊びや生活、特性に即して設定した。週の記録をとり、見直すながら次に繋げていった。 年計、月、個人の記録をとり、各クラスが同じ目標に向い共同理解を深めるようにした。クラスごと、常に話し合いを行い、どう動くか検討した。 同年齢、異年齢の関わりは行事や活動の中、早朝や遅い時間等に合同保育を行い、異年齢児をいたわり手助けをすること、小さい子には優しくする大切さを学べた。 諸記録、資料等は回覧し、すぐに確認できる場所に集積した。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○		
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○		
		(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行なっているか。	○			
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○		
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○		毎月の避難訓練は年間計画に沿って月1回行い、非常時の行動を園児に意識させた。 保護者には毎月の保健だよりを配布し、季節に応じた子ども対応、感染症の発生状況を知らせ各家庭で予防に備えるように啓発した。日々の健康管理、内科健診、歯科健診、尿検査(3歳以上2回)を行い園児の健康管理に努めた。 交通安全指導は年3回、今年度は江迎所の交通安全指導も来ていただき、バトカー乗車、警察さんとの交流を行った。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。(コロナの状況で1回のみ)	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		
研修	所内研修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		園外の研修は保育に無理がないように参加し、報告を園内研修として行い全職員に新しい知識を学ぶ機会が与えられるようにした。それぞれの職員が内容をレポートして理解を深め、日々の保育に生かせるようにした。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	○			
		(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			
		(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		
	所外研修	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			研修参加計画に沿って参加し、経験年数に応じた研修に参加した。研修内容は他の職員に報告し共通理解に努めた。
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	○				個人情報保護法に関して全職員で共通理解の下、慎重かつ適切に取り扱いを行い、保護者には文書で報せた。 公文書、各諸表簿は適切に処理を行っていた。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				遊具点検等の点検は専門業者による年1回の定期点検や職員による週1回の安全点検を行う事で 適切な管理や使用を行った。 不備な遊具は専門職員に迅速に修理してもらった。 玄関はオートロック仕様でモニターで来所者の確認をして園内から解錠する仕組みになっている。 防犯訓練を行い、専門業者による警備等の安全対策や派出所のおまわりさんを交えた防犯訓練を行った。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				適正な処理が出来た。
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携		○			年度初めに小学校担当者と年間を通じた交流計画を立て、話し合いを行いながら、計画を進めた。参観日、行事に参加することにより、卒園後の子どもたちの育ちを知ることが出来、スムーズな接続につながるようになった。また、今後の保育の参考になった。 保育所から伺う機会が多いが保育を日頃の保育をもってもらう機会が少ないので働きかけていきたい。 日常的な情報交換で、職員同士が親しくなり、安心した就学に進めることが出来た。
	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○		
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携					1日保育参観を行い、子どもたちの保育所での様子、保育所の実態を見てもらうことで保護者と職員が共通の理解を持つことにつながった。 地域文化祭に、文化・演芸両面で参加した。施設訪問も行い各施設から喜ばれた。今後に繋げたい。
	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。	○				
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所 づ く り	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				園庭お迎えの時は保護者に入ってもらい、時間がある時は一緒に遊ぶ場を提供した。その間、保護者の相談に職員が関わることが出来た。要支援の園児、保護者には専門機関を紹介し必要な情報の提供を行った。専門機関との連携を取り、訪問したりしてもらったりと情報交換をして保育を行った。
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○				
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				園だより・給食、保健だよりは毎月配布している。月初めにホームページで行事予定や情報を発信している。
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	保護者からの意見など可能な限り保育運営に反映し、園だより、ホームページにて公開した。
		(2) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			内容は職員会議で周知し、検討して保育に繋げた。